

## 自己評価公表シート

令和7年度 第2回 津山社会福祉事業会 津山保育園

### 1. 本園の保育目標

<p>子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。</li> <li>豊かな生活経験のなかから基本的な生活習慣を身につける子どもを育てます。</li> <li>安定した気持ちで様々な活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。</li> <li>豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。</li> </ol>
--

### 2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育目標・保育・行事について 職員が連携して「子どもの最善の利益の尊重」を最優先して子ども主体とした保育を行う。	月間目標や主体的な保育について園内研修を行った後、振り返りを行った。行事の見直しを行い、お月見、ひなまつり等各クラスで年齢にあった内容の取り組みができるようになった。行事準備への負担をあげる職員もおり子ども主体でどのように取り組むか今後も課題である。
開かれた保育所づくり 信頼される保育園として、保護者、地域、専門機関との連携と貢献を図る。	保護者を交えての引き渡し訓練を初めて実施して課題が具体的にあった。地域交流では大手町のシニアクラブの方をお店屋さんごっこに招待した。また、近隣の複数の高校生と授業を通して異世代間交流を行った。小学校との接続として津山市立東小学校と定期的に交流して架け橋プログラムを作成することになっている。
運営・保健・安全指導について 自分の職務や役割分担を理解し、安心安全な保育について、職員間で連携を取りながら責任を持ち意欲的に取り組む。	嘔吐処理等、感染症対応の実地訓練を職員全員参加し、衛生的な手順を確認した。安全確認は毎月点検簿で確認をしている。不審者訓練実施後、園内の安全対策のため日中玄関施錠をすることにした。役割分担について声を掛け合いながら協力しているが負担に感じる職員もいる。
資質向上（研修・情報）について 保育士・栄養士等人間性と専門性の向上のため、一人ひとりが目標を持ち、保育の質を高める。	研修計画に基づきほとんどの職員が外部の研修も含め参加できており、参加者の学びが保育に活かされている。復命書により報告を行っているが、研修内容の全体共有が課題である。

### 3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
子どもの主体性を尊重した保育の計画を行う。	子どもの声をしっかり聴き、思いを尊重することを一番に考える。職員会議や年齢別チームでの話し合いを通して、子どもの関わりについて意見交換を行い、協力し合える関係作りを行う。
保護者、地域、小学校との連携を図り、子どもが安全に安心して過ごせるようにする。	引き渡し訓練での反省を活かした計画を立てて次年度も実施する。保護者の方々とじっくりと対話ができるよう、お茶を飲みながらのクラス懇談等取り入れる。近隣のシニアクラブ、商店街、事業所との交流を引き続き重ねる。東小学校との相互交流を通して就学前に大切なことを職員間で確認する。
全職員の共通理解と安全対策の遂行に努める。	BCPを基本に感染症対策、地震対策、不審者対策等、具体的な手順を職員間で確認し、図上やロールプレイで動いて意識を高めるようにする。また、業務標準の見直しを行い、保育の質の向上につなげる。
全ての職員の資質向上に努める。 コンプライアンスの徹底に努める。	職員研修の実施後は報告発表を行い、内容について現場で取り入れられないことがないか意見交換を行う。また、個人情報・プライバシー保護に向け、職員全員へ定期的に重要性を知らせて基本的知識の理解と遵守に努める。